

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業423社を対象に実施し、349社より回答があり、その結果□をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成20年7月～9月の実績、平成20年10月～12月の見込み、平成21年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。□

調査時期：平成20年9月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199□	168□	84.4%□
非 製 造 業	224□	181□	80.8%□
計	423	349	82.5%□

日銀が11月17日に公表した、北陸の金融経済月報（2008年11月）によると、北陸の景気は、「海外経済の減速や既往のエネルギー・原材料価格高の影響などから、停滞色が強まっている。

最終需要をみると、輸出が弱めの動きとなっているなかで、設備投資も減少している。また、公共投資や住宅投資は低調に推移しているほか、個人消費も弱い動きとなっている。

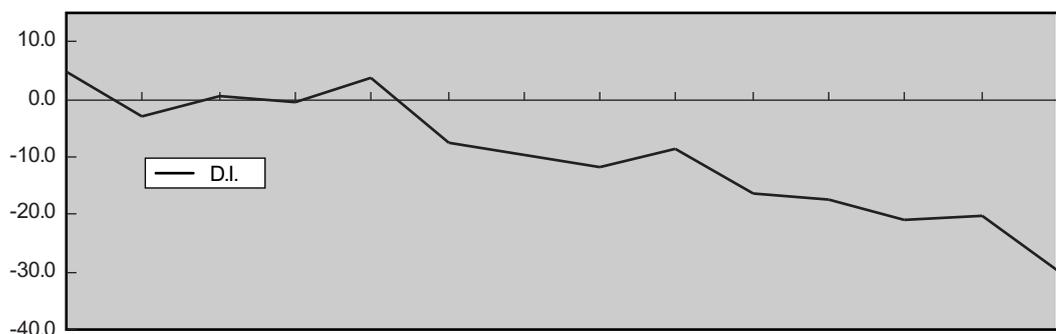
当地製造業の生産は、穏やかに減少している。企業収益（08/9月短観調査）は、海外経済の減速や既往のエネルギー・原材料価格高の影響などから減益となっている。

先行きについては、「海外経済やエネルギー・原材料価格の動向等が実体経済に与える影響を見極めていく必要がある。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別	（%）															
	17年		18年				19年				20年				21年	
種別	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	見込	予測
良 い	22.2	19.1	19.7□	18.3	20.9	17.6□	13.4	13.6	14.6	12.6	12.9	8.4	8.9	6.1		
普 通	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4□	63.5	61.1	62.3	58.4	56.6	62.2	62.0	58.1		
悪 い	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0□	23.0	25.3	23.1	29.0	30.5	29.4	29.1	35.8		
D . I .	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-17.6	-21.0	-20.2	-29.8		

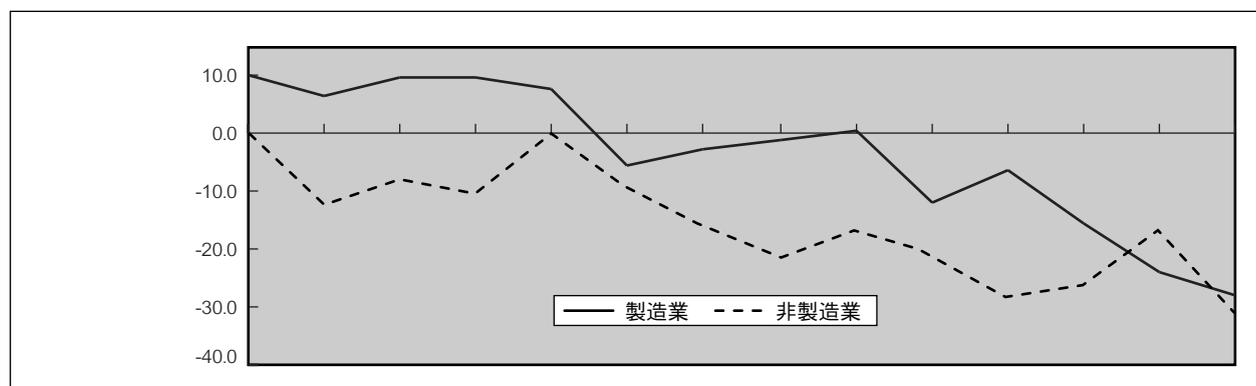


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		（%）														
		見込	予測													
17年	18年	18年				19年				20年				21年		
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月	1~3月
良	い	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	16.3	10.2	7.8	6.6	
普	通	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	61.2	64.1	60.5	58.7	
悪	い	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.5	25.7	31.7	34.7	
D. I.		10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-6.2	-15.6	-24.0	-28.1	

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		（%）														
		見込	予測													
17年	18年	18年				19年				20年				21年		
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月		10~12月	1~3月
良	い	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	9.7	6.7	10.0	5.6	
普	通	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	52.2	60.6	63.3	57.5	
悪	い	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	38.2	32.8	26.7	36.9	
D. I.		0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-28.5	-26.1	-16.7	-31.3	



- こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」は、20年7～9月期実績は▲21.0と前期比3.4ポイント悪化した。先行きについて、20年10～12月期のD.I.は、今期比やや改善見込となっている。しかし、21年1月～3月の予想では、D.I.は更に悪化予測となっている。
- 業況判断指数D.I.の20年7～9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より悪化している。先行きに対しても、悪化ポイントが増加していく回答となった。非製造業については、今期はやや改善となり、10～12月期もマイナスポイントは減少し、改善見込となっている。しかし、21年1～3月期では、今期よりマイナスポイントが増加し悪化予測の回答となった。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17年				18年				19年				20年				21年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	35.4	35.0	35.0	33.8	36.0	31.6	28.5	26.0	31.5	30.1	26.5	26.0	19.1	14.4			
横ばい	40.5	40.9	44.3	44.4	42.1	40.7	41.7	42.2	40.4	39.2	41.2	40.9	48.3	52.9			
減少	24.1	24.1	20.8	21.8	21.9	27.7	29.8	31.8	28.2	30.7	31.6	33.1	32.6	32.8			
D. I.	11.2	10.9	14.2	11.9	14.1	3.9	-1.2	-5.9	3.3	-0.5	-5.7	-7.1	-13.4	-18.4			

売上高状況（うち製造業のみ）

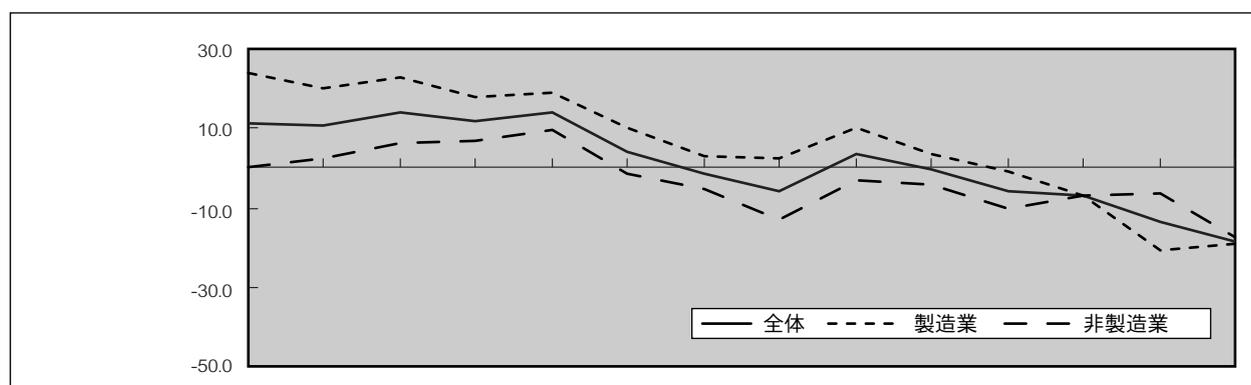
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17年				18年				19年				20年				21年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	43.1	41.4	39.2	38.0	39.9	34.7	31.6	31.0	36.5	34.0	30.6	28.6	18.5	17.5			
横ばい	37.8	37.4	44.5	41.7	39.4	40.5	40.0	40.2	37.1	3.5	37.8	35.7	42.3	45.8			
減少	19.1	21.2	16.2	20.3	20.7	24.8	28.5	28.8	26.3	30.4	31.7	35.7	39.3	36.7			
D. I.	23.9	20.2	23.0	17.7	19.2	10.0	3.2	2.2	10.2	3.5	-1.1	-7.1	-20.8	-19.3			

売上高状況（うち非製造業のみ）

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	17年				18年				19年				20年				21年
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	1~3月		
増加	28.5	29.1	31.2	29.8	32.4	28.9	25.8	21.4	26.9	26.8	22.8	23.6	19.8	11.5			
横ばい	43.0	44.1	44.0	46.9	44.6	40.8	43.2	43.9	43.3	42.3	44.4	45.6	53.8	59.3			
減少	28.5	26.8	24.8	23.2	23.0	30.3	31.0	34.6	29.8	30.9	32.8	30.8	26.4	29.1			
D. I.	0.0	2.3	6.4	6.6	9.4	-1.4	-5.2	-13.2	-2.9	-4.1	-10.1	-7.1	-6.6	-17.6			



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。全産業の売上高状況D.I.は、19年10~12月期をピークに悪化してきている。今回調査では、▲7.1と前期より1.4ポイント悪化した結果となった。先行きについても、悪化予想となっている。21年1~3月期は更に、マイナスポイントが増加し、悪化している。□
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けてみると、製造業は悪化傾向となっており、マイナスポイントが増加しており、先行きも悪化予想となっている。非製造業のD.I.は、前期よりやや改善している。10~12月期もやや改善見込の回答となった。21年1~3月期は、売上減少ポイントが増加し、悪化予測の回答となった。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

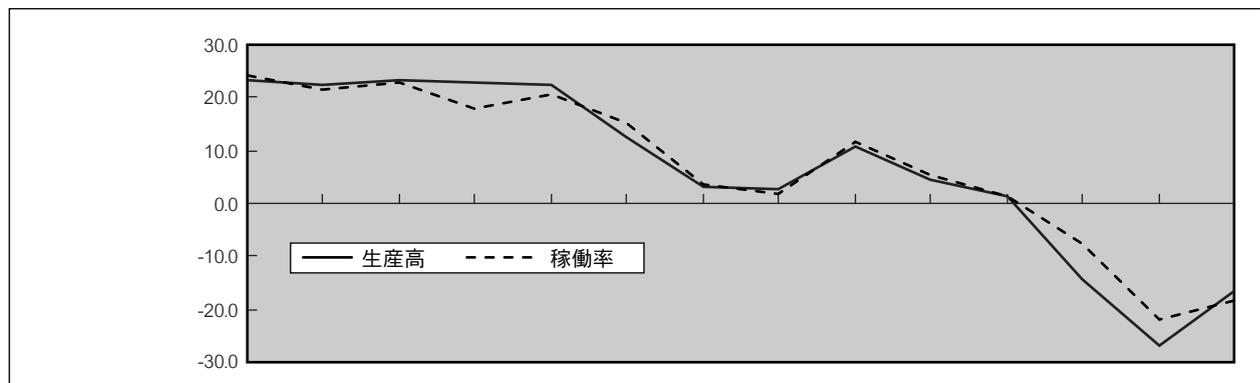
(%) 見込 予測

期別 種別	17年	18年				19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
20%以上増加	12.5	11.7	7.6	10.7	8.4	6.5	4.4	8.1	7.9	4.4	5.9	1.8	0.6	1.8
20%未満増加	28.3	28.1	32.1	28.3	31.6	27.2	26.4	21.4	27.5	28.8	24.1	21.2	17.1	15.2
横ばい状況	41.8	42.9	44.0	44.9	42.6	45.1	41.8	43.9	39.9	38.1	41.2	39.4	37.8	49.4
20%未満減少	15.2	16.8	13.6	14.4	17.4	19.0	24.2	23.1	21.3	25.6	26.5	30.3	37.2	26.2
20%以上減少	2.2	0.5	2.7	1.6	0.0	2.2	3.3	3.5	3.4	3.1	2.4	7.3	7.3	7.3
D . I .	23.4	22.4	23.4	23.0	22.6	12.5	3.3	2.9	10.7	4.4	1.2	-14.5	-26.8	-16.5

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	17年	18年				19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
上昇	13.3	12.0	8.2	9.3	5.9	5.1	5.6	5.9	6.9	4.6	7.2	2.6	1.3	1.9
やや上昇	25.6	27.2	28.4	25.1	31.2	28.2	20.8	18.9	25.3	27.8	21.7	19.9	16.8	12.3
横ばい	46.7	42.9	49.7	49.2	46.2	48.6	50.6	52.1	47.1	40.4	43.4	47.4	41.9	53.2
やや下降	13.9	15.2	11.5	15.8	16.7	16.9	20.8	18.3	17.8	23.8	25.3	24.4	33.5	27.3
下降	0.6	2.6	2.2	0.5	0.0	1.1	2.2	4.7	2.9	3.3	2.4	5.8	6.5	5.2
D . I .	24.4	21.5	23.0	18.0	20.4	15.3	3.4	1.8	11.5	5.3	1.2	-7.7	-21.9	-18.2

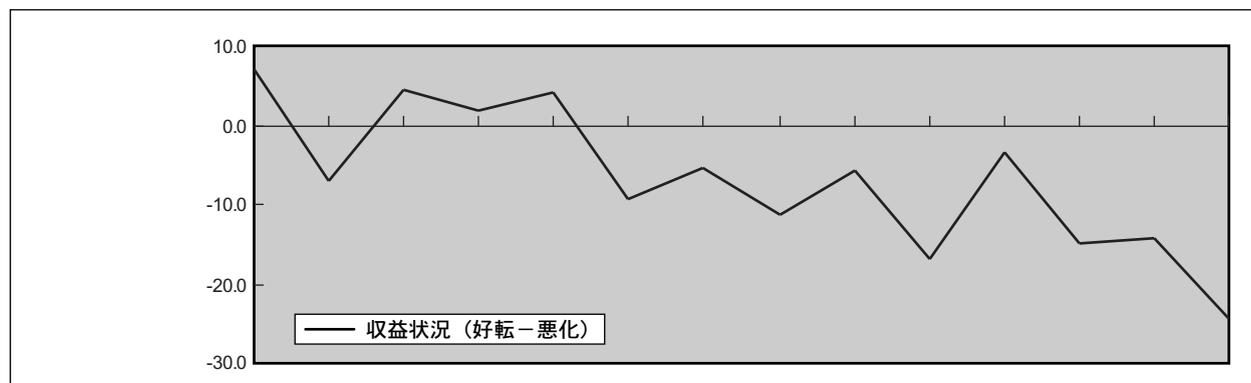


- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.「増加－減少」は、19年10～12月期は改善していたが、今年からは悪化傾向となっている。今期は、ポイントもマイナスの回答となった。先行きについても、悪化予想となっている。□
- (2) 稼働率状況D.I.も、生産高同様に10～12月期をピークに悪化してきている。今期は▲7.7とマイナスポイントとなった。先行きについても稼働率の下降との回答ポイントが増加しており、D.I.は悪化見込の回答となっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
好転	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	12.7	12.7	7.8		
横ばい	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	59.5	60.4	59.9		
悪化	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	27.7	26.9	32.3		
D.I.	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-15.0	-14.2	-24.4		



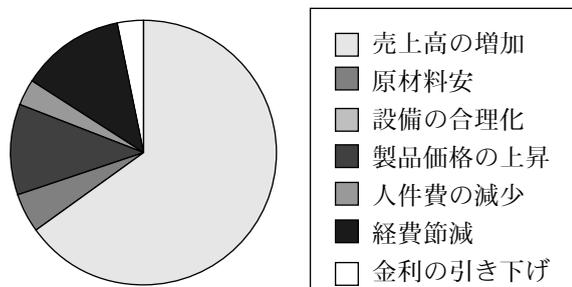
好転理由

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の増加	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	65.1	62.9	60.9		
原材料安	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	4.8	4.8	4.3		
設備の合理化	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	1.6	2.2		
製品価格の上昇	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	11.1	12.9	17.4		
人件費の減少	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	3.2	4.8	2.2		
経費節減	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	12.7	11.3	6.5		
金利の引き下げ	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	3.2	1.6	6.5		

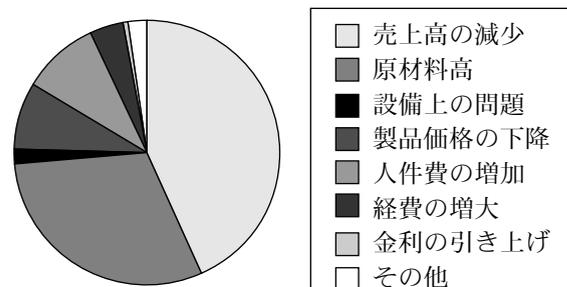
悪化理由

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の減少	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	43.3	44.8	47.6		
原材料高	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	30.4	27.9	26.2		
設備上の問題	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.8	1.2	2.1		
製品価格の下降	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	8.2	8.7	6.8		
経費の増大	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	9.4	10.5	11.5		
人件費の増加	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	4.1	4.1	4.2		
金利の引き上げ	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	0.6	0.0	0.0		
その他	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	2.3	2.9	1.6		

好転理由



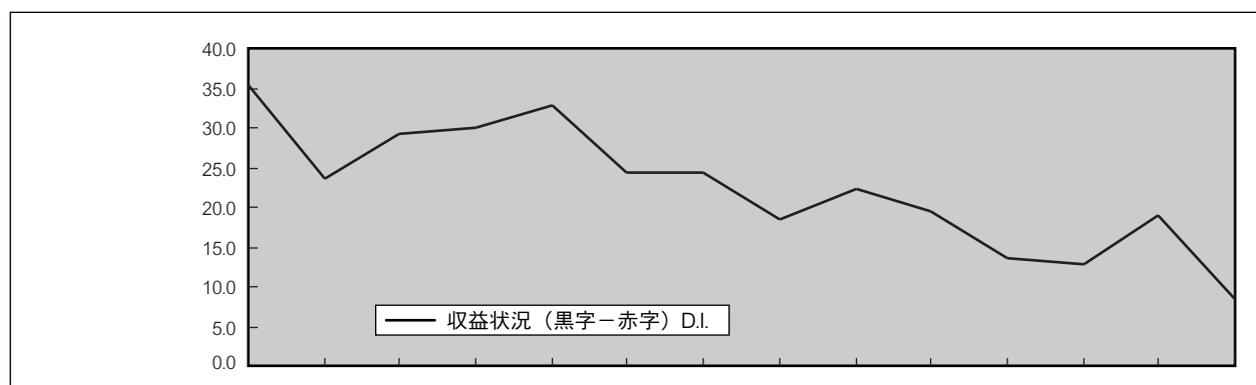
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲15.0と前期比11.7ポイント悪化した。先行きについては、20年10～12月期D.I.は今期よりやや改善見込となっている。21年1～3月期では、▲24.4と大幅に悪化予測の回答となった。□
- (2) 今期収益が好転したとの回答からの好転理由は、「売上高の増加」「経費削減」「製品価格の上昇」となっている。「売上高の増加」の回答は前期比やや増加しているが、「経費削減」「製品価格の上昇」との回答ポイントは減少となった。□
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」「原材料高」「経費の増大」が高いポイントとなった。「売上高の減少」「原材料高」との回答はやや減少となったが、「製品価格の増加」を悪化理由としたポイントが増加した。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別	（%）													見込	予測		
		17年				18年				19年				20年				21年
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
黒字		48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.3	35.0	29.3			
収支トントン		38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	44.1	49.1	49.9			
償却後赤字		13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	21.6	15.9	20.9			
D . I .		35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	12.7	19.1	8.4			



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、今年に入り低下してきている。20年7～9月期も12.7と前期比0.8ポイント悪化となった。17年10～12月期の調査以降、最低のポイントとなり、収益の悪化状況がうかがえる。先行きについては、10～12月期は改善見込となっている。しかし、来年は再び悪化予想である。収支トントンとの回答ポイントが増加し、黒字とする回答はやや減少している。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

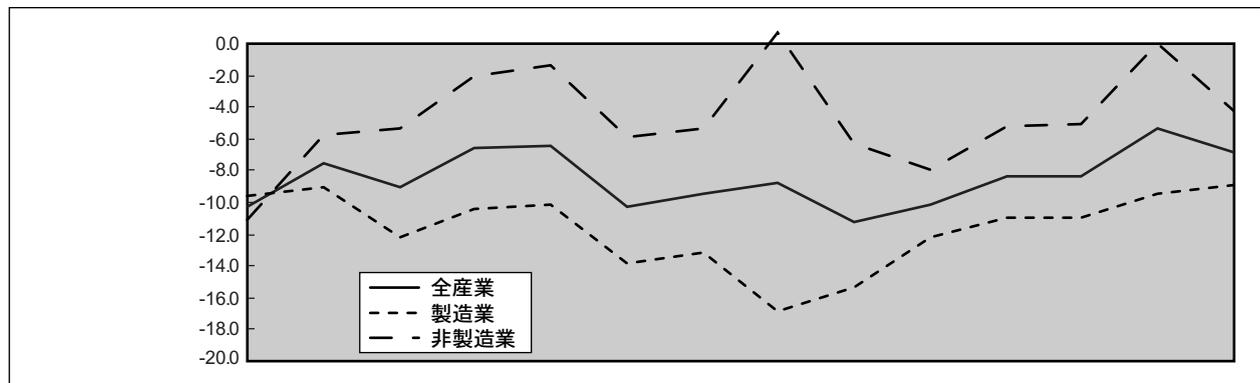
期別 種別	(%)														見込	予測
	17年	18年				19年				20年				21年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	3.3	3.2	3.6	3.9	3.6	2.4	2.8	4.4	1.6	1.7	2.7	3.3	4.0	2.9		
適正	83.0	86.0	83.8	85.5	86.4	84.9	84.9	82.6	85.5	86.3	86.2	85.1	86.6	87.3		
過剰	13.6	10.8	12.6	10.6	10.0	12.7	12.3	13.1	12.9	11.9	11.1	11.6	9.4	9.8		
D.I.	-10.3	-7.6	-9.0	-6.6	-6.4	-10.3	-9.5	-8.7	-11.3	-10.2	-8.4	-8.3	-5.4	-6.9		

製品在庫水準（うち製造業のみ）

期別 種別	(%)														見込	予測
	17年	18年				19年				20年				21年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	4.5	4.3	3.9	3.3	3.7	1.1	2.3	2.3	1.1	1.3	1.2	2.6	3.2	3.2		
適正	81.4	82.3	80.1	83.0	82.4	83.9	82.3	78.5	82.4	85.3	86.6	84.0	84.2	84.7		
過剰	14.1	13.4	16.0	13.7	13.9	15.0	15.4	19.2	16.5	13.5	12.2	13.5	12.7	12.1		
D.I.	-9.6	-9.1	-12.2	-10.4	-10.2	-13.9	-13.1	-16.9	-15.3	-12.2	-11.0	-10.9	-9.5	-8.9		

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

期別 種別	(%)														見込	予測
	17年	18年				19年				20年				21年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
不足	2.0	1.9	3.3	4.7	3.5	4.0	3.3	6.7	2.1	2.2	4.5	4.2	5.0	2.5		
適正	85.0	90.4	88.2	88.6	91.6	86.1	88.0	87.2	89.4	87.6	85.8	86.7	89.9	90.7		
過剰	13.1	7.7	8.6	6.7	4.9	9.9	8.7	6.0	8.5	10.2	9.7	9.2	5.0	6.8		
D.I.	-11.1	-5.8	-5.3	-2.0	-1.4	-5.9	-5.3	0.7	-6.3	-8.0	-5.2	-5.0	0.0	-4.2		



- (1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、20年7~9月期は▲8.3となり、前期比横ばいとなっている。先行きについて、過剰感は減少見込となり、適正との回答も増加している。業種別でも、適正との回答が増加してきている。□
- (2) 20年7~9月期、業種別では、高岡銅器・不動産の過剰感が増加している。プラスチック・木工建具・自動車販売は0.0ポイントと改善している。先行きは、ほとんどの業種が過剰感が高いなか、木材業・機械工具販売・運送業は不足の回答となっている。

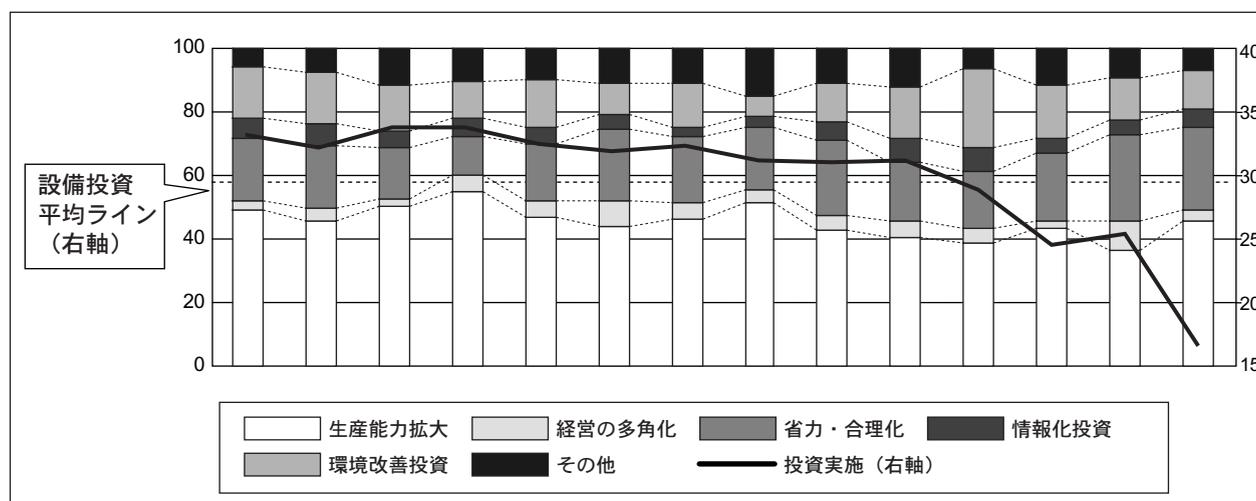
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	(%)														見込	予測			
	17年					18年					19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	21年				
投資実施	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.8	32.2	31.4	30.9	31.1	28.8	24.4	25.3	16.5					
投資せず	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.2	67.8	68.6	69.1	68.8	71.2	75.6	74.7	83.5					

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	43.8	46.2	51.6	42.6	40.4	38.7	43.5	36.4	45.6
経営の多角化	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	8.5	5.4	4.1	4.9	5.3	4.7	2.4	9.1	3.5
省力・合理化	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	22.3	20.8	19.7	23.8	18.4	17.9	21.2	27.3	26.3
情報化投資	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	4.6	3.1	3.3	5.7	7.9	7.5	4.7	4.5	5.3
環境改善投資	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.0	13.8	6.6	12.3	15.8	24.5	16.5	13.6	12.3
その他	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	10.8	10.8	14.8	10.7	12.3	6.6	11.8	9.1	7.0



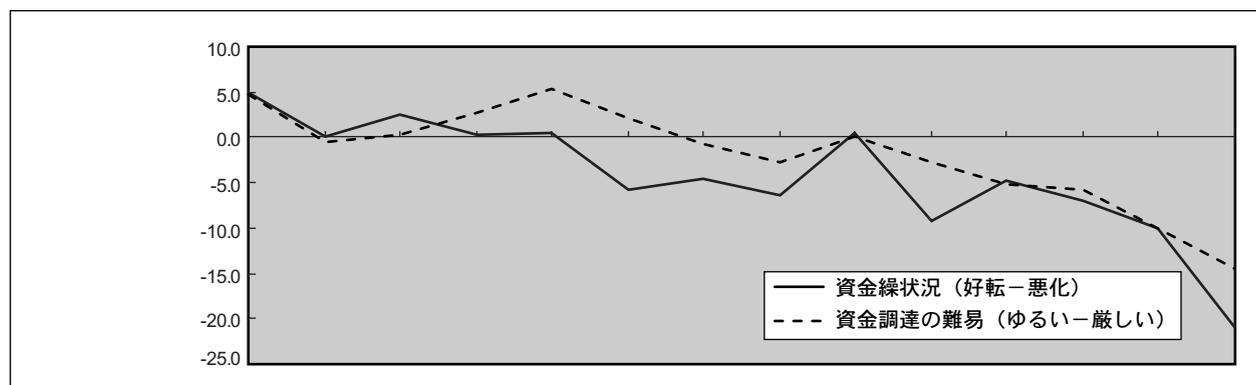
- (1) 20年7~9月に設備投資を実施した企業は全産業の24.4%であった。実施企業は減少傾向にある。先行きについても、20%台であり、21年は16.5%と10%台となっている。製造業では31.0%、非製造業18.2%が設備投資を行っている。20年7~9月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が43.5%次に環境改善投資が21.5%と高いポイントとなった。環境改善を目的とする投資は減少した。
- (2) 先行き設備投資を予定している企業は今期より低下している。設備投資の目的は、生産能力の拡大、省力・合理化の順になっている。20年7~9月期において設備投資実施企業の割合が高かった業種は、医薬品製造、金属製品製造、出版印刷紙加工であった。先行きでは電子部品製造、繊維が設備投資を予定しているポイントが高くなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	17年	18年				19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
好転	11.7	11.0	10.8	9.2	11.0	8.1	6.8	5.9	10.4	7.4	8.5	6.0	5.7	2.6
変わらず	81.6	77.9	80.9	81.9	78.4	78.1	82.0	81.7	79.6	76.0	78.4	81.0	78.5	73.9
悪化	6.7	11.0	8.3	8.9	10.5	13.8	11.3	12.4	9.9	16.7	13.2	12.9	15.8	23.5
D.I.	5.0	0.0	2.5	0.2	0.5	-5.7	-4.5	-6.4	0.5	-9.3	-4.7	-6.9	-10.0	-20.9



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

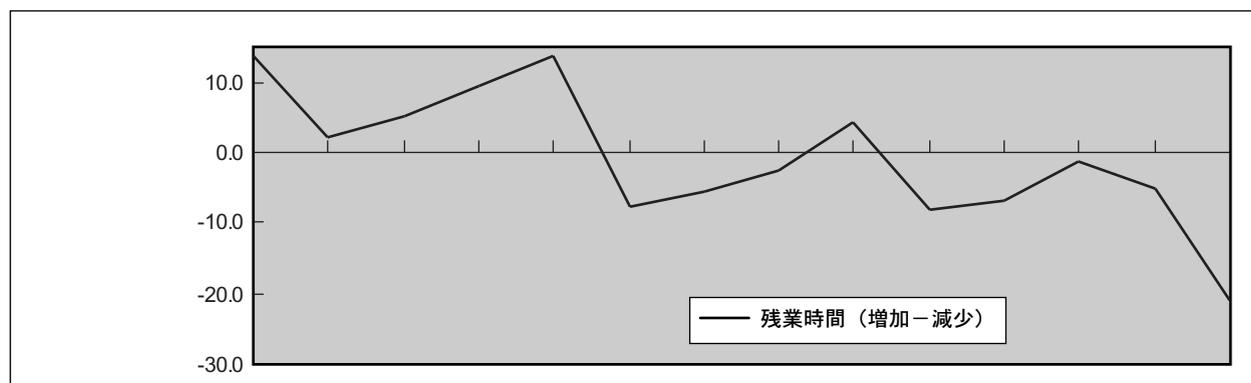
期別 種別	17年	18年				19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月
ゆるい	14.1	12.2	11.5	13.2	13.8	13.6	11.6	10.6	10.4	12.2	7.9	7.5	7.8	6.9
厳しくない	76.6	75.1	77.3	76.3	77.8	75.0	76.1	76.0	79.3	72.8	79.0	79.3	74.4	71.8
厳しい	9.3	12.7	11.2	10.4	8.5	11.4	12.3	13.4	10.4	15.0	13.1	13.2	17.9	21.3
D.I.	4.8	-0.5	0.2	2.8	5.3	2.2	-0.8	-2.8	0.0	-2.8	-5.2	-5.7	-10.1	-14.4

- (1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は20年はマイナスポイントとなり、低下している。前期より、▲2.2ポイント悪化し▲6.9となっている。先行きについても更に悪化傾向にあり、21年は▲20.9と大幅な悪化予測の回答となった。
- (2) また、資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」においても、今年になってからはマイナスポイントとなり、厳しいとの回答が増加し、悪化傾向となっている。業種別で、厳しいと感じているのは、宿泊業と不動産のD.I.が▲50.0となり最も悪いポイントとなった。次に窯業土石、土木業の順になっている。先行きについても、土木業、宿泊業のD.I.はマイナスであり、資金調達が厳しい状況である。

Ⅷ. 労務事情

残業時間

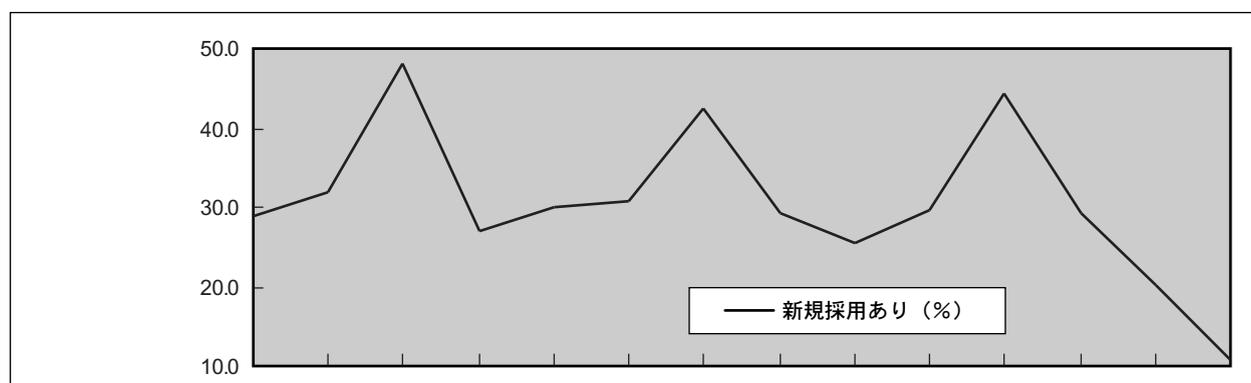
期別 種別	(%)														見込	予測			
	17年					18年					19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	21年				
増加	24.6	19.5	19.4	17.2	22.5	15.6	14.0	15.1	18.7	14.3	12.4	17.6	12.6	4.8					
横ばい	64.3	63.1	66.2	75.3	68.7	61.3	66.6	67.2	67.0	63.1	68.4	63.4	69.6	69.4					
減少	11.0	17.4	14.4	7.5	8.8	23.1	19.5	17.7	14.4	22.5	19.2	19.0	17.7	25.9					
D.I.	13.6	2.0	5.0	9.6	13.7	-7.5	-5.5	-2.5	4.3	-8.2	-6.8	-1.4	-5.1	-21.1					



- (1) 残業時間 (増加-減少) D.I.20年7~9月期は前期より5.4ポイント増加し、残業が増加した。D.I.は20年からマイナスポイントとなり、残業時間は改善傾向にあるが今期は増加となった。先行きについては、横ばいとの回答が増加しているが、D.I.は減少し、残業は減少の見込となっている。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

期別 種別	(%)														見込	予測			
	17年					18年					19年				20年				21年
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	21年				
全産業	28.9	32.0	48.2	26.9	29.9	30.6	42.5	29.2	25.6	29.7	44.5	29.3	20.2	10.7					
(うち製造業)	29.3	35.5	44.5	25.9	29.9	28.1	41.6	25.4	27.7	30.9	43.2	30.6	23.3	14.4					
(うち非製造業)	28.5	28.7	51.5	27.8	30.0	32.7	43.3	32.5	23.7	28.7	45.7	28.1	17.4	7.3					

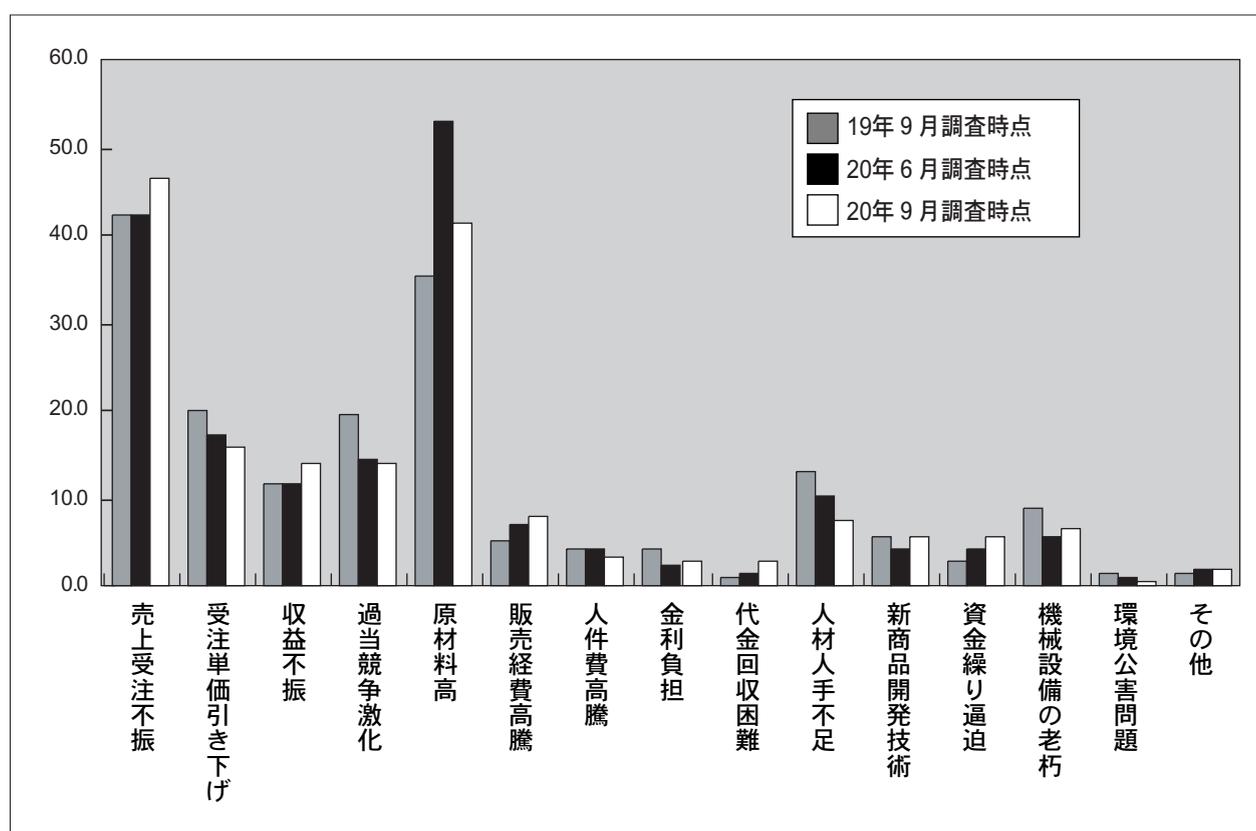


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業について7~9月の採用は全産業では前年同期と横ばいとなっている。業種別では、製造業は前年同期比増加しているが、非製造業は減少している。

IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	19年9月 (前年)	20年6月 (前回)	20年9月 (今回)	20年9月 (今回)		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	42.3	42.1	46.4	(44.6)	(48.1)	4.3
受注単価引き下げ	19.9	17.4	15.8	(16.1)	(15.5)	-1.6
収益不振	11.7	11.7	14.0	(11.9)	(16.0)	2.3
過当競争激化	19.4	14.4	14.0	(7.7)	(19.9)	-0.4
原材料高	35.2	53.0	41.5	(50.0)	(33.7)	-11.5
販売経費高騰	5.1	7.1	8.0	(6.0)	(9.9)	0.9
人件費高騰	4.1	4.3	3.2	(0.6)	(5.5)	-1.1
金利負担	4.1	2.2	2.9	(3.0)	(2.8)	0.7
代金回収困難	1.0	1.6	2.6	(0.6)	(4.4)	1.0
人材人手不足	13.0	10.1	7.4	(6.0)	(8.8)	-2.7
新商品開発技術	5.6	4.3	5.7	(10.7)	(1.1)	1.4
資金繰り逼迫	2.6	4.3	5.4	(4.2)	(6.6)	1.1
機械設備の老朽	8.7	5.4	6.3	(6.5)	(6.1)	0.9
環境公害問題	1.3	1.1	0.6	(0.6)	(0.6)	-0.5
その他	1.5	1.9	2.0	(1.8)	(2.2)	0.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振46.4%(前期比+4.3ポイント)、②原材料高41.5%(前期比▲11.5ポイント)、③受注単価引下15.8%(前期比▲1.6ポイント)の順となっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業がやや減少した結果となっている。製造業では、60%以上の企業が原材料高を当面の経営上の問題点としていたが、今期は14.2ポイント減少し、50.0となった。減少したが、最も高いポイントとなっている。
- (3) 業種別では、製造業は原材料高が最も高く、次に売上受注不振となっている。非製造業では、売上受注不振、原材料高の順となり、同じ項目が上がっている。